

令和6年1月備前市教育委員会定例会会議録

公表版

1 開催日時 令和6年1月29日（月）  
開会 午前 9 時 30 分 閉会 午前10 時 5 分

2 開催場所 備前市役所 6階 委員会室

3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職 名	氏 名	出欠
1	委 員	高 取 睦	出
2	委 員	出 井 鉄 二	出
3	委 員	田 中 道 生	出
4	委 員	金 谷 美 圭	出

5 出席者

職 名	氏 名	出欠
教育長	松 畑 熙 一	出
副教育長	守 屋 孝 治	出
教育振興部長	石 原 史 章	出
社会教育部長	畑 下 昌 代	出
教育振興部次長	春 森 弘 晃	出
国際教育推進部副参与兼国際教育課長	丸 山 幸 宏	出
小中一貫教育課長	谷 口 健 一	出
社会教育部次長	江 見 清 人	出
教育総務課長	竹 林 伊久磨	出
地域教育課長	池 田 満 之	出
教育D X推進課長	行 正 英 仁	出
幼児教育課長	文 田 栄 美	出
放課後子ども教育課長	出 射 詩 都	出
図書館活動課長	小 橋 智 裕	出

6 付議事件 議案等付議事項のとおり

7 会議状況 議事録のとおり 傍聴人 なし 非公開 あり

8 署名委員 2番 出 井 鉄 二

9 書 記 教育総務課総務計画係長 森本 明美

議案等付議事項

区分	案件名
協議第1号	西鶴山保育園及び大内保育園について
報告第1号	学校の現状報告について
報告第2号	令和6年度全国学力・学習状況調査及び令和6年度岡山県学力・学習状況調査への参加について
報告第3号	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について
報告第4号	I B教育の取組について

午前 9 時 30 分 開会

**教育長** 委員の皆様には令和6年1月教育委員会会議定例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。今年は災害や事故などの大きな事から始まって、いろいろと不安定な、大変な問題含みの年の始まりでありましたが、いい年になるようしっかりがんばっていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは定例会を開会いたします。ただ今の委員の出席は4名全員であります。定足数に達しておりますので、令和6年1月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

委員並びに出席職員に申し上げます。教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人・団体情報を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあつては、委員会の議決をもって、非公開といたします。非公開審議の事例は、かなり繁雑にありますので、あらかじめ、ご承知おき願ひます。委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘は、あらかじめ分かる場合は、教育長から発議し、そうでない場合は、発言途中であっても、委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど所要の手續を行いたいと思います。以上、よろしくお願ひいたします。

それでは、ここで政務報告として議事に先立ちまして、12月定例教育委員会会議以降の教育行政の概要について報告をいたします。

12月29日、岡山県立備前緑陽高校の卒業生で、杭州アジア大会でチームスプリント、スプリントの2冠に輝いた競輪競技の太田選手の備前市長スポーツ特別表彰授与式に出席をいたしました。

1月4日、株式会社ヨータイより、ひと・まち・しごと創生寄附活用事業に係る企業版ふるさと納税としての寄附金及び図書をいただくにあたり、贈呈式に参加いたしました。図書につきましては、備前市にゆかりのある作家眉村卓氏の作品を市内全中学校と図書館に寄附していただく本であり、12月12日に受領したものであります。

1月5日、園長会があり、出席をいたしました。AI時代の保育、教育はどうあるべきかについてを話いたしました。

1月7日、備前市市民センターで開催された備前市二十歳の集いに出席をいたしました。今年度は285人が20歳を迎え、久しぶりの再会を喜び合う晴やかな様子を見て、私も大変うれしく思いました。

1月9日、一般財団法人備前市文化芸術振興財団評議員会に出席をいたしました。

1月11日、定例校長会があり、出席をいたしました。ウェルビーイングな学校を目指して、備前市として国際バカロレア教育、IB教育に取り組むことなどの点を話をいたしました。

1月13日、備前市文学賞表彰式があり、出席をいたしました。一般の部に148点、小学生の部に218点、中学生の部に435点の応募があった中から入選が12点、佳作65点の入賞作品が決まり、表彰式に参加された皆さんへ賞状が授与されました。

同日夜、備前青年会議所の新年互例会に出席をいたしました。

1月20日、備前市論語かるた大会があり、参観をいたしました。小学生低学年以下、高学年、中学生、高校生以上の4つのカテゴリで個人戦、団体戦が行われ、熱戦が交わされました。今年度は新見市から教育長をはじめ、3校12名の生徒の参加があるなど、大会は大変、大いに盛り上がりを見せて、大変有意義な会となりました。

1月23日、東京で開催されましたB&G財団の全国サミットがあり、出席をいたしました。備前市は11年連続特A受賞を続けております。

以上で、概要報告を終わります。

それでは、議事に入ります。

まず、1番 前回定例会会議録の承認ですが、令和5年12月定例会の会議録について、委員の皆さんにも確認をお願いしておりました。委員から5ページのご自身の発言部分につきまして軽微な修正の依頼がありました。修正後の会議録をお手元にお配りしています。会議の内容等の改変に関わるものではないので、修正することにいたしたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。

**教育委員**（異議なし）

**教育長** ご丁寧な修正意見を出していただきました委員、ありがとうございました。その他何かお気づきの点ございますでしょうか。

**教育委員** (質問等なし)

**教育長** ないようですので、委員の依頼のとおり修正して調製をいたします。令和5年12月定例会の会議録について、承認するというところでよろしいでしょうか。

**教育委員** (異議なし)

**教育長** ありがとうございました。

次に2番 署名委員の決定ですが、今回は2番の出井委員にお願いをいたします。

次に3番 議案等付議事項のうち報告第1号 学校の現状報告については、会議規則第15条第1項第4号及び第6号に定める個人に関する情報を含む会議を公開することにより個人の権利利益を害するおそれのある事項及び会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項に該当することから、非公開とするよう発議をいたします。このことについて賛成の委員は挙手をお願いします。よろしいでしょうか。

**教育委員** (全員挙手)

**教育長** ありがとうございます。それでは全会一致で非公開と決定します。

それでは、これから非公開部分の審議になります。

..... 【 ここから 非公開審議 】 .....

..... 【 ここまで 非公開審議 】 .....

**教育長** 引き続き、協議第1号 西鶴山保育園及び大内保育園について、事務局から説明をお願いします。

**幼児教育課長** それでは、西鶴山保育園及び大内保育園について、認定こども園へ移行することについての資料の説明をいたします。資料の1ページ目をご覧ください。西鶴山保育園の認定こども園化についてと大内保育園の香登認定こども園分園化についてということで説明させていただきます。2ページの地図をご覧ください。備前市内には公立の認定こども園が8箇所、それから公立の保育園が2箇所、それから私立の小規模保育園の1箇所、認可の園がございます。これまでも継続してこども園化を進めてきているところですが、保育園について今日はこども園化ということで説明させていただきます。3ページをご覧ください。保育園の園児数の推移について、資料の方をご覧ください。西鶴山保育園と大内保育園の園児数について、1月15日現在の人数を表に表しています。令和6年の見込みというのは、現在、園の入園申込みを第1希望まで受付しているところです。2次募集の方も26日に終わって、今後保育士、保育教諭の配置などと併せまして、第2希望、第3希望などと一緒に調製してまいりますので、こちらの人数的方は多少変更はあると思いますけれども、15日現在の申込み状況がこのようになっており

ます。ちなみに香登認定こども園の方は令和6年度の見込みは全体で52名となっております。香登認定こども園については、表にはございませんけれども、令和2年度が62名、それから令和3年度が56名、令和4年度が52名、令和5年度が48名という風に推移しております。下の「保育園・認定こども園の違い」というものをそこに表にしております。所管や根拠法令、それから目的、教育・保育内容の基準といったところが大きく違ってきておりますが、中でも1日の教育・保育時間というところで、保育園の方は8時間と11時間、認定こども園については4時間、8時間、11時間の利用にも対応となっております。この4時間の部分がいわゆる幼稚園、1号認定のお子さんをお預かりできる時間ということになっていきますので、そこが保育園と認定こども園の大きな違いとなっております。次に、1学級の幼児数と1教員当たりの幼児数となっておりますが、保育園の方は学級編成の基準はございません。認定こども園については1学級35人以下。3歳以上にはそうした学級の編成が必要になっております。教員1名当たりの子どもの数というのがその表にありますので、こちらの方は、保育園についても認定こども園についても変わりはありません。表では、4歳から5歳児が30対1ということで、教員1人に対して30名ということの基準になっておりますが、これは今現在の基準です。来年度、令和6年度からは、この30対1が25対1ということで、より丁寧な保育の環境に置かれるような基準に変わっていきます。特性としてはそこに書かれてありますように、保育園は児童福祉施設という養護の意味合いが高いんですけども、備前市では現在も保育園でもこども園と同様に、就学前教育と保育を一体的に行っているのが現状です。次に4ページの資料をご覧ください。大内保育園の分園化ということで、幼保連携型の認定こども園の分園の基準というものを国の通知からこちらの表に示しております。基本的な考え方、定員及び距離、それから職員の配置、設備、食事の提供、子育て支援事業、設置の手続という風になっておりますが、おおむね現在大内保育園で行っている内容とは大きな変化はございません。違うところといいますと、定員及び距離というところで、定員は原則として30人未満となっております。それから、本園と分園の距離というものが定められております。あと大きく違うところは、職員の配置になっております。受入れ人数に対しての分園の単位での基準に基づく職員配置の要件は同じなんですけれども、園長を配置することが想定されていません。その代わり、運営の基準や施設運営の実態に合わせて、本園の園長の管理下で実質的に統括する職員を適切に配置するということになっております。こちらに関しましては、分園の方に副園長の配置を検討しているところでございます。それから保育園とこども園の大きな違いとしては子育て支援事業となっておりますけれども、現在、大内保育園でも園庭開放などでこういった子育て支援事業というものも進めているところなので、運営に関しては大きく違ったところはないと考えております。設置の手続につきましては、認定こども園法に基づく手続が県の方へ必要になってまいりますので、現在、県とも協議しながらこども園の分園化について進めているところでございます。それから、資料にはございませんが、今後のスケジュールといたしましては、明日、1月30日の厚生文教委員会で議会の委員会の方に

は報告させていただきまして、その後、保護者の方へ説明を行っていこうと考えております。以上でございます。

**教育振興部長** それでは、私の方から少し補足説明をさせていただきます。この度市立の保育園を認定こども園化するということに関しましては、従来から備前市におきましても順次保育園、幼稚園をこども園化してきた経緯というものがございます。その方向性に則ってこの度のこども園化という動きでございます。なお、大内保育園につきましては、設置者である市長の意向の中におきましても、現在の香登認定こども園につきましては、市内でも特に園庭が狭あい、狭小であるというところから大内保育園を統合した形で認定こども園化を検討するというところで指示が出ているところでございます。そういった背景を踏まえて、この度全ての保育園を認定こども園化していく流れの中で、ステップ段階として、香登認定こども園の分園として認定化を目指すという流れで説明させていただいているところでございます。今後のハード面での協議なども検討を進めていくこととなりますけれども、保護者や地域の思いにも十分耳を傾け、より丁寧な議論を進めていきたいという風に思っているところでございます。以上です。

**教育長** 以上の説明で委員の方々、何かご質問、ご意見などございましたら、よろしくお願ひします。

**教育委員** スムーズに行けば、いつからこの形になるのでしょうか。

**幼児教育課長** 令和6年度4月から切り替えていきたいとは考えております。ただ、申込みの段階で保護者の方には大内保育園、西鶴山保育園ということで希望を募っておりますので、保護者への説明は丁寧に行っていきたいなと考えております。

**教育長** よろしいでしょうか。令和6年4月からということで。幼小一貫教育的な観点もございまして、ぜひそういう方向でと思っております。お互いに努力したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。他に何かございますか。

**教育委員** 違いというのがもう一つよく分かってない。それなりに勉強はしてきたつもりなんですけども、方向性としては備前市においては保育園じゃなくて認定こども園に全部持って行くという方向性ですよね。そう理解してもよろしいですね。それで、根本的な違いというのは認定こども園の方がいろんなことを包括してできるということになるんですかね。

**教育振興部長** はい。まず、こども園化することの最大のメリットといたしましては、担当課長からも説明がございましたように、この一覧の中にもあります1日の教育・保育時間ということで、4時間、いわゆる幼稚園で過ごす園児、いわゆる1号認定者の受入れが可能となるということが、最大のメリットだという風に認識をしております。地域の子どもたちの受入れ環境としての整備ということで、地元の小学校に就学をしていく地域の子どもたちの受け皿となるべく、認定こども園化をしていくというのが一つ、最大のメリットであろうという風に捉えております。現状の中でも、香登認定こども園の3歳児が1名ということでありますけれども、西鶴山地域の在住園児でございます。1号認定ということで、地元の西鶴山保育園には入園がかなわ

ず、近隣の香登認定こども園に就園していただいているという現状がございます。就学1年前の5歳児であれば、特例的に保育園でも受入れができるというところはございますけれども、そういった地元地域の子どもたちを受け入れていくという環境整備は、行政としても必要不可欠な方向ではないかという風に捉えておりますから、委員も言及をしていただいておりますように、保育園だから認定こども園と比べて保育の内容が不十分かということではございません。保育所の保育指針に則って、備前市としてもこども園化を進めていく中で、総合的な教育・保育ということには取り組んできているところではございますけれども、やはり受入れ体制ということも含めて認定こども園化していくということが備前市としての方向性であるという風にご理解いただければと思います。

**教育長** よろしいでしょうか。

**教育委員** 今、部長が言われたように、西鶴山の1号の子が香登認定こども園に1人だけ行かれていますというお話でしたけど、今度の4月から西鶴山がこども園になった場合は、希望すれば、この香登の1人の方は、西鶴山の1号になれるということですか。

**教育振興部長** そのようにご理解いただければと思います。

**教育長** そういことですので、特に問題はなかろうかと思います。保育園の発展的解消によるこども園化というのは、大まかにはそういう方向性とかんがえていただければいいんじゃないでしょうか。

それでは、報告第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査及び令和6年度岡山県学力・学習状況調査への参加について、事務局から説明を願います。

**小中一貫教育課長** 令和6年度も全国学力・学習状況調査及び岡山県学力・学習状況調査が実施されます。8ページから10ページに全国学力・学習状況調査についての調査の概要をまとめております。調査期日は、令和6年4月18日です。令和6年度の調査の主な変更点といたしましては、中学校において令和5年度に実施された英語が、令和6年度は実施がない年になっております。それから令和6年度は、国語と数学が実施ということになっております。また、児童生徒の質問調査については、端末を活用したオンライン方式により実施することとなっております。35ページ、36ページ、こちらの方には岡山県の学力・学習状況調査についての調査の概要をまとめております。実施日につきましては、全国調査と同一日である令和6年4月18日となっております。こちらにつきましては、大きな変更点はございません。どちらの調査におきましても、結果を基に、教育委員会は今後の学校の指導、施策の方に生かし、学校は今後の学習指導の資料として活用し、充実を図ることを中心に対応してまいりたいと考えております。以上です。

**教育長** 何かご質問などございますか。

**教育委員** (質問なし)

**教育長** それでは、報告第2号の説明が終わりましたので、次は、報告第3号 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について、事務局から説明をお願いします。

**小中一貫教育課長** 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要について報告いたします。38ページをご覧ください。この調査は、国のしつ皆調査で小学5年生と中学2年生が対象です。2番の(1)体力合計点は、小学校5年生においては男女ともに全国平均を上回っており、中学校2年生では男女ともに下回っております。次のページをご覧ください。各種目の平均値では、小学校では男女ともに、上体起こし、反復横跳び、0メートルシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均値を上回り、握力で全国平均値を下回っていました。中学校で男女ともに立ち幅跳びで全国平均値を上回ったものの、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20メートルシャトルラン、50メートル走、ハンドボール投げで全国平均値を下回っていました。もう1枚、次のページにお進みください。児童生徒の質問紙調査にある体育の授業以外の運動やスポーツの時間についての結果をまとめた表です。ご覧のとおり、小学校では男子の平日の運動やスポーツの時間が全国平均より下回っているものの、女子の平日の時間や男女ともに週末の時間は全国平均を上回っていました。中学校では男女ともに平日も週末も全国平均を下回っており、運動習慣の定着が課題の一つであるという風に捉えております。以上、簡単ではございますが、概要についての報告となります。

**教育長** 以上の報告で何かご質問などございますか。

**教育委員** (質問なし)

**教育長** それでは特に質問等がないようですので、次に移ります。

報告第4号 IB教育の取組について、事務局から説明をお願いします。

**国際教育課長** IB教育の取組についてご報告申し上げます。12月18日月曜日に中学校5校がMYP候補校に、1月12日金曜日に小学校10校がPYP候補校に決定いたしました。自治体全体での取組は日本では初めてであり、国際バカロレア機構から様々な形でサポートしていただいております。17日水曜日には、ワシントンDCオフィス、シンガポールオフィスをつないで4名の上級スタッフとのオンラインミーティングを行い、意見交換を行いました。今後の本市の取組について、すでに多くのご配慮をいただいておりますが、中でも、小・中学校に対して直接アドバイスをさせていただくコンサルタントに日本語でのコミュニケーションを取れる方を指名していただき、現場の先生方の声が届きやすいという点において、極めてありがたい配慮だと思っております。各小・中学校のIBコーディネーターの先生方を中心に、来年度からのトライアルに向けた準備を始めております。現時点では、単元ユニット、概念学習、学習評価の方法など、不慣れな点が多々あり、決してスムーズに進行しているとは言えません。しかしながら、試行錯誤し続けることこそがIBが期待していることでもありますので、お互いに協力しながら積極果敢に挑戦していきたいと考えております。以上で報告を終わります。

**教育長** 何かご質問などございますか。

**教育委員** (質問なし)

**教育長** 本当に、候補校の認定が全ての小・中学校で認定されたということと、本当に機構が初めての日本での自治体、全小・中学校でのIB教育に進んでいくということに対して、大変好



意と期待を持って見られているということで、これからどんどん国際教育推進部を中心に進めたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、続いて、議事4番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明をお願いします。

**教育総務課長** それでは、2月の定例会につきましては、2月13日火曜日午前9時30分から、市役所6階委員会室で開催することを提案いたします。また、3月定例会につきましては、3月25日月曜日午前9時30分からの予定とすることを提案いたします。

**教育長** 次回定例会は2月13日火曜日の9時半から、この委員会室。よろしいでしょうか。

**教育委員** （異議なし）

**教育長** それから3月が3月25日月曜日9時30分、よろしいでしょうか。ご予約をよろしくお願いいたします。

次に5番 2月の行事予定及び共催・後援予定が事務局より提出されていますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

その他、何かありますでしょうか。

**図書館活動課長** お手元の方にカラーの両面のチラシをお配りしております。えびす駅伝大会と同じ日になってしまうんですけども、「びぜんこども読書まつり」を毎年開催しております。今年が2月11日日曜日ということで、市民センターで午後から絵本作家のたけうちひろさんをお招きして開催を予定しております。併せて、その前日2月10日から11日にかけて、関連行事として市民センターのホールで大型絵本等の展示を行うようにしております。よろしくお願いいたします。以上です。

**教育長** ありがとうございます。よろしくお願いいたします。その他。

**小中一貫教育課長** 委員の皆様のお手元に令和5年度卒業式出席者一覧の案、1月18日現在というものを配布させていただいてるかと思っております。小学校につきましては3月19日火曜日、中学校におきましては3月12日火曜日、片上高等学校におきましては3月2日土曜日に卒業式が予定されております。その表の中で、日時の時間は開始時刻を掲載させていただいております。実際は15分から20分前ぐらいを目処に各校においていただけたらという風に思っております。案としてそれぞれ委員さんのお名前を入れさせていただいたものを作っておりますので、ご都合が付かないであるとか、何かお気づきのことなどございましたら、お知らせいただけたらと思います。なお、当日ご参加いただきましたら、事前にこちらの方で準備させていただきます祝辞の方をいただくような予定を考えておりますので、今年につきましてもよろしくお願いいたします。小中一貫教育課からは以上です。

**幼児教育課長** 幼児教育課から保育園、こども園の卒園式につきましても市内全園におきまして3月15日金曜日に予定しております。名簿の方が間に合ってなくて申し訳ございません。後刻、個別にお知らせさせていただけたらなどと考えております。委員の皆様にもいずれかの園に出席をお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。以上です。

**教育長** その他、いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、ほかにはないので、  
以上で1月教育委員会会議定例会を閉会といたします。皆さん、お疲れ様でした。

午前 10 時 5 分 閉会

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員      教育長

委 員